

## 令和3年度 第5回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和3年8月3日（火）午前9時00分～
- ・場 所 八尾市役所第2委員会室
- ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等

### 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。令和3年度第5回部長会にお集まりいただき、ありがとうございます。日ごとに暑さが増していますが、各部局の皆さんには、連日、新型コロナウイルス感染症に伴う対応のため、通常業務に加えて、たいへんご苦勞をおかけしていることに、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症を巡っては、7月に入り大阪府全域で、20代・30代の若年層を中心に陽性者数が激増しております。そのような中、大阪府において、8月2日から4回目の緊急事態宣言が発出されました。これまでの緊急事態宣言の要請内容とは若干変わってきているものの、市民の皆さんにおかれては、長期にわたる自粛生活に疲弊しているという状況も見受けられております。

本市としましても、一層の感染防止対策の強化を図りながらも、しっかりと市民に寄り添った対応をしていかなければならないと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症対策の切り札と言われているワクチン接種についても、職員の皆さんには大変ご苦勞をおかけしているところですが、本市では、65歳以上の高齢者への接種状況は7月末時点で約8割に達しています。今後、若年層の接種ニーズの高まりが予想されますが、国の動向を注視しながら、しっかりとした計画のもと、市民に寄り添った対応をしていきたいと考えております。職員の皆さんにおかれましては、市民目線に立った、親切でわかりやすい対応をお願いいたします。

先日から、各課の行政改革推進員の皆さんと懇談会を実施しております。将来の八尾市を担う職員の率直な意見に、私も新たに気づくところがありました。部局長の皆さんにおかれましては、職員のモチベーション向上や働きがいのある職場づくりをめざして、日頃から、積極的に若手職員とコミュニケーションを深めながら、意見や提案を採用するなど、若い力を育てていただくことをお願いいたします。

東京オリンピックが開幕し、本市出身の選手も活躍されています。緊急事態宣言下でのオリンピックということで、賛否両論、さまざまな意見があると思いますが、アスリートの懸命な姿に励まされる部分もありますので、注目してまいりたいと考えております。

最後に、コロナ禍という状況下で、しっかりとした市政運営を進めていかなければなりません。そのためには、職員一人ひとりの意識が非常に重要です。暑い日も続きますが、体調にも留意され、引き続き、ご協力いただきますようお願いいたします。

### 案件

#### 1 大阪 880 万人訓練について

#### 危機管理監

大阪府、大阪市、堺市、交通機関、通信キャリアなどによる「大阪 880 万人訓練実行委員会」により、「第 10 回大阪 880 万人訓練」が実施されます。

実施日は9月3日であり、13時30分に地震発生、13時33分に大津波警報発表と計画されてお

り、訓練用エリアメール等が発信されます。訓練の想定は、南海トラフ地震で、府民がさまざまな情報源から地震・津波発生情報を入手し、地震・津波発生時に自らの身を守る行動に繋がるよう、防災意識の向上を図ることが目的となっております。

本市には津波の影響はないと想定されるものの、本市においても今後 30 年以内に 8 割の確率で発生すると言われている、南海トラフ巨大地震に備えて次の 5 つの訓練を実施いたします。

①市内広報訓練、②災害時情報伝達訓練、③職員参集状況確認訓練、④避難所開設報告訓練、⑤避難行動訓練、についてシステムと通信機の活用を中心として実施いたします。

実施日までに詳細をご報告いたしますので、ご多忙のところ恐縮ですが、業務に支障のない範囲で、訓練行動の実施及び所管施設への周知等にご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

特に意見なし

## 2 2025 年大阪・関西万博への対応について

政策企画部長

2025 年大阪・関西万博は、本市にとって数ある魅力を国内はもとより、世界に発信し、印象づけるとともに、経済波及効果を得るための絶好の機会であると考えております。

現在、本市では新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、その対策を最優先に取り組み、ワクチン接種もまた、国のさまざまな動きのある中で、着実に取り組みを進めているところであります。

このワクチン接種の進捗による経済活動回復への期待や、大阪府・市において「万博推進局」がこの秋にも設置される予定であることなど、本市においても、これらの動きを見据え、着実に準備を進めていく必要があるものと認識しております。

大阪府から万博に関連する調査も徐々に増えてきている状況であり、現在、やおプロモーション推進プロジェクトチームを中心に「博覧会協会」や大阪府、その他の関係機関との連絡調整、また、政策企画部内で情報共有や検討をはじめとしているところであります。

万博のテーマでは、「いのち輝く未来社会のデザイン」が掲げられておりますが、健康推進施策はもとより、各部局において、これまで積み上げていただいている施策について、万博を契機として、さらに発展させていただきたいと考えております。

今年度は、参画に向けた整理を行い、その工程をまとめていくための庁内照会や情報共有、また、連絡調整会議の立ち上げについて検討しているところであり、今後、各部局に対しましても、さまざまなご協力をお願いすることとなってまいります。もちろん、万博がゴールではなく、その後も見据え、本市がこの万博の効果を最大限得られるよう進めていくことが重要であると考えておりますので、横断的な協力、また、積極的な参画を重ねてお願いいたします。

【理事（健康課題対策及び健康まちづくり担当）】本件につきましては、「いのち輝く」というテーマに関連して「健康寿命の延伸」と「いきいきと長く活躍できる 10 歳若返り」が大阪府のビジョンに挙げられています。今回の万博でとりあげられる健康の概念は、病気にならないというのみでなく、健康で過ごせるための地域環境や生活環境を創造していくことであると考えられますので、政策企画部長が言ったとおり、関係部署が横断的に連携して、各施策を展開していくことが重要であると考えます。健康まちづくり科学センターとしましても、現在進めております当市の健康課題のデータ収集や分析、健康まちづくり計画の策定や進捗をふまえて、このプロジェクトにしっかりと関わってまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

【大松市長】万博に関しては、本市も積極的に関与していくという表明をしておりますが、

いよいよ積極的な動きが出てきております。本市においては、魅力発信はもちろんのこと、コロナ禍の中における健康・命という観点も含めて、オール八尾市で積極的に参画していかなければならないと考えております。やおプロモーション推進プロジェクトチームだけでなく、すべての部局が万博でどのようなことができるのかということをしかりと考えていただくよう、強くお願いしておきます。

### 3 令和3年度課長補佐昇任考査の実施について

総務部長

本年度の課長補佐昇任考査を、「職員昇任考査案内」のとおり実施いたしますので、対象者への周知をお願いします。対象者一覧と職員昇任考査案内を配付しておりますが、対象者がいない部局については職員昇任考査案内のみ配布しておりますので、よろしくお願いします。

なお、課長補佐昇任考査については、事前研修を含め、自己啓発・自己学習の契機となること、また、管理職に昇任するにあたっての自覚を促す手段として効果的であり、有能な管理者層の育成と組織の活性化を図る目的があると考えております。

なお、今年度は人事評価制度において限られた財源や人員体制の中、これまで以上に職員一人ひとりの育成や個々のやりがい、組織パフォーマンスの向上につなげるしくみとするため、課長級以上の能力評価を充実させる改定を行ったところであり、課長補佐昇任考査においても同様に、一部内容を変更して実施してまいりたいと考えております。

昇任考査の変更点ですが、まず、昇任考査内申における評定内容について、係長として部下職員のマネジメント経験を通じ、将来の管理職として、所属マネジメントを発揮し、部下職員の人材育成を支援していくことにより、組織パフォーマンスを高めていくことができる能力・素養を備えているかという視点を充実させ、人事評価制度との連動性を高めてまいりたいと考えております。

次に、昇任考査の実施要領について、日頃の業務に対する評価を重視する目的から、受験回数ごとの加算制度を廃止し、筆記試験の結果と内申の評価について、内申割合を高く設定することとします。ただし、今年度は経過措置を設け、受験回数1回につきこれまで5点であったところ、3点とし、受験回数4回で12点を限度として加点しますが、次年度から加点制度については、完全に廃止することとします。

また、2次考査においてこれまで面接試験の点数で総合判定していましたが、評価結果に内申点を加え、最終合格者を決定いたします。

なお、評価スキルを高め、評価者によってバラツキのない公平な評価となるよう、今年度は10月に評価者研修を予定しております。映像配信の研修を予定しておりますので、課長級以上の職員については必ず受講していただきますよう、よろしくお願いいたします。

詳細については後日別途通知させていただきます。

各部長におかれましては、より多くの対象者がチャレンジできるよう十分な周知と勧奨をお願いします。

**【こども若者部長】** 受験対象者数と近年の受験率を教えてください。また、内申重視となれば、主観的な評価となるリスクがあります。部局によって偏りが出ないように、具体的な評価基準や対象者数に応じた評価基準など、評価を一定に保ち、公平に評価できる制度となるようにしなければなりません。説明によれば、評価者研修等をするとのことですが、考えを聞かせていただきたい。

**【総務部長】** 令和3年度の対象者数は134名、昨年度の受験率は62.3%でございます。評価者研修では、公平な評価制度となるよう、しっかりと内容を検討し、取り組んでまいり

たいと考えております。

**【環境部長】**筆記試験や面接試験と内申点とのバランスはどうなるのか、差し支えなければ教えていただきたい。

**【総務部長】**試験制度の内容となるため、配点比率の詳細までお伝えするのは差し控えた  
いが、一次試験は筆記試験に加え、内申点の割合を高めていくということとなります。二  
次試験はこれまで内申点が入っていなかったものを、今年度からは内申点を加えて合否の  
判定をするということになります。

**【植島副市長】**評価者の責任は重くなっていきますが、課長級以上に評価者研修を予定し  
ているということですので、公平な評価をするためにも、しっかりと研修を受講し、適切  
な評価ができるようスキルを高めていただきたいと思います。

最後に植島副市長から、以下の発言があった。

ワクチン接種事業につきましては、各部局から多数の職員応援をいただき、感謝いたしま  
す。また、市立病院につきましても、感染者の受け入れからワクチン接種に至るまで、積  
極的に取り組んでいただきまして感謝いたします。また、ワクチン接種 PT や保健所を所管  
する健康福祉部につきましても、感染者への対応からワクチン接種への対応まで、部を挙  
げて臨機応変に取り組んでいただいていることに感謝をいたします。

市長の挨拶にもありましたとおり、7月末現在で高齢者の2回目のワクチン接種が74%  
を超えているという状況であり、当初の計画は達成できております。また、エッセンシャル  
ワーカーについても、本市はクラスターを発生させないとの信念のもと、しっかりと対  
応してきており、各施設から安心感があるとの声もいただいております。これまで市民の  
安心を第一に積極的に取り組んできた成果が出てきているものと考えております。

ワクチンの供給が安定しない中ではありますが、今週の金曜日（8月6日）から接種の  
予約を再開することとなります。今後本市は医療機関と連携し、医療機関による個別接種  
を中心にワクチン接種を進めていただきながら、行政としては集団接種により補完をして  
いくという形で、今後も着実にワクチン接種を進めてまいりたいと考えております。各部  
局長におかれましては、今後も引き続きさまざまなご協力をいただくことになると思いま  
すが、よろしく願いいたします。